



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：市川修次 副会長：唐澤 稔 幹事：宮下 健 公共イメージ向上委員長：加藤 篤



世界に希望を生み出そう

2023-2024 国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

2023-2024 RI会長
ゴードン R.
マッキナリー
＜スコットランド、
ウェストロージアン＞



第1694回例会 令和6年4月2日(火)

■ 点 鐘

12:30

■ ソング

君が代・奉仕の理想・四つのテスト

鈴木一比古ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

・米山奨学生 アミン, エムディアル様



■ 会長挨拶

市川修次会長



毎朝 TBS のザ・タイムというニュース番組を見ていますが、この番組を担当している安住紳一郎といアナウンサーは 5 時 59 分から 6 時まで毎回違う話題の話をしていましてピッタリ 6 時の時報前に話を終わらせるという、アナウンサーにとりましては当たり前的事かもしれませんが、週に一回何の話をしたら良いか頭を痛めている身にとっては、毎日違う話題をピッタリ 1 分間に纏める才能というか技術は私からみれば神業のようすごいと思って見えています。

桜の開花が例年より遅れているようですが 4 月に入りました。暖くなると楽しみな事が多いのですが、そのひとつにマスターズが 11 日から始まります。松山の活躍も楽しみですが、もうひとつの楽しみがオーガスタの鮮やかな緑の綺麗なコースの廻りに赤や黄色の花が咲いている、それを見る事が出来るその中でプロが難しいコースをどうやって攻略していくか、オーガスタは何回も見ているうちにコースが解ってくるものですから見る楽しみが他の大会以上だと思います。11 番から 13 番ホールに続くアーメンコーナー、中でも世界で最も有名で一番美しいと言われている 12 番のショートホール、手前に落とすと池に転がり落ちオーバーするとバンカーと言われているグリーンをプロがどうやって攻略していくのか、ミスショットをしていかにカバーしていくかを見る事が出来る事を待ち遠しく思っています。

野球も開幕しましたが大谷選手の通訳の賭博問題には残念な気がします。好意的に見られていたのですがこの問題が出てきた途端にギャンブル依存症ですとか学歴詐称ですとか、中には人相が元々悪いとかさんざんな事になってしまいました。小林製薬の「紅麹」も大変な問題になっています。小林製薬は売上 1730 億円と言われていますが企業経営においては何が起るのか判らない他人事ではないなと思って見えています。

先日の新聞には「勤勉転じて不正の沼」という記事が載っていました。K ツーリストの支店の営業課長と

いう立場の人がコロナで仕事が8割減るといふ焦りの中で、市からワクチン接種の電話対応業務を請負ってコールセンターを開設したのですが業務の合理化を図る目的で当初の契約よりもオペレーターの人数を減らした。その結果、契約内容とは違った為に罪に問われたという内容でした。ニュースの表面に出ている事だけで判断する事は出来ませんが、営業で結果を出す事を目標にしてきた人にとってはそういう方向に行くのも当然の行為であるように思います。営業課長という立場で会社の為に働いた結果が詐欺罪で逮捕されて執行猶予付きの懲役3年、会社は解雇という事で、「不正」という一言で済ませてしまうにはこの人にとって悲しい結末であるなと思ひながら読みました。

■ 慶 祝

4月誕生祝い

- ・ 澁谷恵二会員
- ・ 三澤耕太会員
- ・ 原誠会員
- ・ 池田幸平会員
- ・ 池上幸平会員



■ 米山奨学金の支給

- ・ 米山奨学生アミンさんへ市川会長より、ロータリー米山記念奨学会「4月分奨学金」が手渡されました。



■ ニコニコボックス

- ◆市川修次 いよいよ暖かくなり桜の花ももうすぐ咲く様に思ひます。外に出る機会も多くなりますが、花粉症には気を付けたいと思ひます。
- ◆宮下健 米山奨学生アミンさん、ご来訪ありがとうございます。本年度から、東部中学校 PTA 会長のお役目を仰せつかっております。明後日が入学式で3分のご挨拶をお願いします...と通知がありましたが、たったの3分で語りつくせない想ひがございます。井上さん同様、話は校長より長くそして、校長より熱く語って参ります。
- ◆松田靖宏 アミン様、本日の例会にお越しいただきありがとうございます。また、4月誕生日の皆様おめでとうございます。
- ◆田中洋 遅くなりましたが、I.M.の大成功おめでとうございました。新しい上伊那グループの出発でした。これからもロータリーを楽しみましょう。中央クラブの団結力は素晴らしいです。
- ◆小椋文成 我が家のキャッツアイ3名が先日無事、高校・中学校・小学校を卒業し、今月から大学・高校・中学校へ進学することになりました。

- 幹事報告 宮下健幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 理事会報告 宮下健幹事

1. 友好桜例会について
2. 創立記念例会・観桜会のプログラムについて
3. 4月の行事予定とメイクアップ扱いについて
4. その他

■ 委員会報告

・3月30日(土) RLI卒業コースの報告 熊谷健会員



令和6年3月30日、塩尻市市民交流センター(えんぱーく)にて、2023—2024年度RLI研修の卒業コースが開催されましたので、参加して参りました。

今までの研修と違い、午後からの研修となりました。内容は、「ロータリーの歴史」と「ロータリーの新しい流れ」の2セッションを学びました。

ロータリーの歴史の中で、意外なのは、女性ロータリアンの入会が認められたのが1989年と、最近であることです。しかも、その経緯は、女性会員の入会を拒否したロータリークラブが、連邦最高裁にて敗訴したことを受け、規定審査会で採択され認められることになったということです。今ではちょっと考えられないことですが、RIの体質が硬直で古臭いというイメージを持ちました。現在は、女性のRI会長も出ていますので、このイメージを刷新する必要があると感じました。

ロータリーの新しい流れでは、「変わりゆく世界という現実を見据え、ロータリーの現状はどうか? どうあるべきか? どうありたいのか?」という命題に取り組むことが、最近のRIの潮流となっていて、クラブ運営の大幅な柔軟性が導入されてきています。

その中で、2020年に提唱されたDEIについて議論がなされました。Diversity(多様性)、Equity(公平さ)、Inclusion(包摂性)とは、どのようなもので、ロータリーでどのような作用を促すのか?

議論した中で私が感じたのは、多様性を認め合うとは、性別・人種・世代・その考え方・思想などが多様であるというその事実を認め、公平さとは、それらの個性がロータリーという集団の中で、平等で存在できることが大切であり、それらの多様性を包み込み、それぞれの個人を思いやる気持ちをもってクラブを運営していく必要がある、ということではないかと考えているところです。

私が、RLI研修から学んだことは、結局、そのような気持ちを持って、次年度の伊那中央ロータリークラブの運営に携わって行こう、ということであると思います。

いずれにせよ、大変でしたが、意義のある研修であったと思います。

・「ロータリーの友」4月号紹介 小川秋實会員



「RI会長のメッセージ」(8頁)では、世界各地で武力紛争が起きているが、ロータリーは平和の維持を目標にしているので、平和維持に積極的に取り組む必要がある。それには、我々自身が変わらなければならない。悪口を聞いても、なぜかを穏やかに聞き返す。相手を傷つけたり、信頼を失ったりする言葉を返さないで、互いに理解し、実りある付き合いをしよう。何よりも相手の気持ちや感情を汲み取ること(共感)が必要で、共感こそ平和へ至る最も強力な手段である。

4月はロータリーの「環境月間」(7-13頁)。RCによる動植物の保護活動について、ライチョウ(絶滅危惧種)の中央アルプスでの復活、オミナエシ(富山県で絶滅危惧種)の苗植え、カブトガニ(絶滅危惧種)が住む干潟の清掃、ウルシ(樹液の9割以上が輸入)の苗木の植樹などを紹介。

能登半島地震(14-18頁)に対し、多くのRCから支援物資・義援金が被災地に贈られた。あるRCから、迅速に大量な支援物資が届いたので、受け取った被災RCは「ロータリーマジック」と感激した。

「PICK OUT PROJECT」(計画を選ぶ)(19頁)は、会員を倍増したRCの紹介。三浦RCは会員29人だったが、会員増強委員長が、会員から紹介された入会候補者に、「町がよくなるように一緒に活動しましょう」と誠意と情熱をもって勧誘したところ、30人が入会し、退会なしだったので、会員59人になった。

「ガバナーのロータリーモーメント」の記事(20-23頁)のなかに、第2600地区・折井正明ガバナーの体験が述べられている。台湾との交流のためにネット検索したところ、大学のゼミで一緒だった林華明氏を見つけ、訪台して30数年ぶりに再会した。地区大会には、RI会長代理として来訪してもらった。「友あり遠方より来る、また楽しからずや」だった。

「世界を変える行動人」(26頁)の記事に、ナイジェリアでの乳がん患者の死亡率は世界最高、3年生存率が36%。ちなみに、日本の3年生存率は約93%。

「サステナビリティは大人の宿題」という講演(縦組4-8頁)は、2015年国連で決定した、人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき17の目標に関するもの。この目標が、持続可能な(サステナブルな)開発目標。英語ではSDGs。これに沿う新しいビジネスについて、スウェーデンのスーパーでは、絶滅危惧種の魚介(クロマグロ、ウナギ、タコ、手長エビなど)は販売しない。少し傷んだ果物をジュー

スにして売る。毎回違う味が売り。あるジーンズメーカーは、無料修理を永久保証。長期的には損はないという。この講演をしたエクベリ聡子氏は、ザンビアにバナナの茎から繊維を取り出す工場を造り、日本で越前和紙の工場で紙（バナナペーパー）を製造している。経産省から、SDGsに取り組むよい事例 15 社の 1 つに選ばれた。

「この人を訪ねて」(縦組 9 -12 頁)の西田勤は、落語家・桂文珍のこと。大阪の RC 会員。72 歳で難易度の高い多発機操縦免許を取得した。

■ 出席報告

会員数48名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者25名 事前メイク0名
出席率59.52% 前回出席率 修正なし

■ 点 鐘

13:30

次回例会

4月9日(火)

12:00 ~ 「友好桜例会」 於：分水 RC 友好桜前（伊那中央病院庭）

12:30 ~ 「通常例会」 於：例会場（海老屋料理店）

- ・卓話：伊那英語ガイドクラブ様
- ・地区研修・協議会の報告（パート 1）